



Kundo Koyama

小山薫堂

1964年6月23日 天草市生まれ。放送作家として「料理の鉄人」や「THE 世界遺産」などを手掛ける。その一方で、映画脚本家としても、初脚本の「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を獲得するなど高い評価を受けている

当たり前が幸せだと感じて欲しい

（サプライズ）企画ではなく、

「くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未来」には何が必要なのかを聞いてきました

くまもとサプライズは、新幹線開業で熊本に来た人々を驚かせ

熊本の人に「日常をリセットしてもらう」ための企画です。この企画で、自分の中で、当たり前だと感じているものでも、県外から見れば、すぐ特別で驚くような価値をもったものがあることを知ってもらおうのです。

僕は県外に出て、熊本の良さを実感しました。上京して体を洗ったり歯を磨いたりするときに水を使いますが、そのときに「やっぱり熊本の水はおいしいなあ」と感じるんです。熊本ではこのようなことを思ったことがありません。豊かな地下水を毎日気持ちよく使うことができる熊本県民はなんて幸せな人たちなんだらうと思えました。それが「当たり前」の幸せです。

県民の皆さんに、日常生活の中で「当たり前前の幸せ」を見つけて欲しいと思います。皆さんが「当たり前」を再認識することがサプライズになり、県外の人への「おもてなし」につ

僕は幸せを運ぶ天使になりたい

そして、地域の人の熱き思いが、熊本を変えます。しかし、全員が熱き思いを持つ必要はなく、それをみんなが応援していくことが大切なのです。熊本の人には、変えようとしている人を見守り、そして応援する人になって欲しい。それが熊本の幸せであり、みんなの幸福につながると思っていますから。

僕は、生まれ変わるならシャンパンを作る人になりたいんです

おめでたいときに、シャンパンで乾杯するようなことってありますよね？

そんな小さな幸せを演出する人になりたいんです。例えば、天使みたいに、陰に隠れながら、いろんな人生にちよつといたずらをして、人と人を巡り合わせたい。そして幸せになった人たちをこっそり見るのがうれしいですね（笑）。くまもとサプライズでも、僕の役割は、皆さんの背中をちよつと押してあげるだけだと思っています。それをきっかけに、熊本の魅力に気付いた人が動いて欲しいですね。

ながるのではないかと思っています。

九州新幹線が開通して、県外の人がたくさん熊本に来ると思いますが、笑顔で迎えてほしいですね。私はどんなときでも笑顔を忘れないようにしています。落ち込んでいても、笑っていたら楽しくなるでしょ。ムスツとしている人より、笑っている人の方が親しみやすい。だから笑顔って大事だなんて思います。皆さんも、笑顔でおもてなししてください。

Suzanne



スザンヌ

1986年10月28日 熊本市（旧植木町）生まれ「クイズヘキサゴンII」、「サンデーネクスト」などに出演し、同じ九州福岡でも「豆ごはん」にレギュラー出演。2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した

おもてなしに必要なのは「知る」こと。そして「笑顔」

んだ」と思われることが多い。例えば、

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する極意を語ってもらいました

熊本はたくさん良いところがあり、一番の熊本の魅力ですね。水がおいしいから、野菜もみずみずしいものができる。水道からミネラルウォーターが出るなんて言いますが、東京では考えられません。向こうでは、水道水をそのまま飲むなんてできない。熊本を離れて、水が変わったことで肌がすごく荒れたんです。「水にお金を出すの？」と思議な感覚でしたが、外に出て改

熊本の魅力は、やっぱりおいしい「水」

熊本は自然が豊かで、山も川もあって、少し行けば海もあります。気軽に温泉にも行くことができ、とてもいいですね。

熊本の人にとって当たり前だとおもうことが、他県の人からすると、「熊本はそんなことがある

太平燕はあんなにおいしいのに熊本にしかない。桜納豆を知り合いが食べて「馬肉と納豆？」と驚いていたけど、「スタミナがつくね」とご飯をおかわりして食べていました。国産量もほとんどが熊本で作られていることを知らない人が多いし、みかんだって、1種類しかないと思っている人がたくさん。でも、熊本には、デコボンや晩白柚（ばんぱくゆず）である。熊本を出て、宣伝部長になって格段に、熊本のことを知ることができたし、詳しくなりました。この「知る」ことが一番大事なのかなと思います。まずそこに行つて、自分の目で確かめる。そして、自分で驚いたことや感じたことを人に話して「行ってみたい」と思わせたいですね。

九州新幹線が開通して、県外の人がたくさん熊本に来ると思いますが、笑顔で迎えてほしいですね。私はどんなときでも笑顔を忘れないようにしています。落ち込んでいても、笑っていたら楽しくなるでしょ。ムスツとしている人より、笑っている人の方が親しみやすい。だから笑顔って大事だなんて思います。皆さんも、笑顔でおもてなししてください。



「笑顔」で起こす サプライズ

温泉、阿蘇、熊本城、いきなり団子、馬刺し、さまざまな誇りがある、ふるさと「熊本」。3月12日に開通した九州新幹線に乗って、多くの人が訪れています。そんな今だからこそ、私たち一人ひとりが「熊本」を見つめ直し、良さに気付いてほしいと、熊本を代表する2人に話を聞いてきました。この記事は、県内市町村の広報担当者が合同で企画・制作しました。

「新幹線開通」をきっかけに「熊本の魅力を再発見」してほしいと賛同した県内の広報担当者が集まり、取材や写真撮影を行い、みんな言葉を選んで作り上げた合同企画です。私たちは、取材に一喜一憂しながら2人の思いを形にしました。それは、私たちにとってすべてが「サプライズ」でした。

2人が語ってくれた熊本の魅力とは、水や自然などの熊本に住む私たちにとって当たり前のものでした。しかし、それは日常生活の中に当たり前前に浸透していて、その価値になかなか気付くことができません。

「当たり前が幸せ」と小山さん。「熊本の当たり前が他県の人から見ると、驚くこと」とスザンヌさん。

小山さんは「隣町にも、こんな良いところがあるんですよーって褒めあえたら熊本はもつと素晴らしい県になる」と話しました。熊本の良さを見つけたら、日本が新幹線であつていくように、自分のことだけでなく、互いに手をつなぐ。たった一人の思いや行動が連鎖し、そこに共感が生まれる…。今回の合同企画が、そんなきっかけになればと思います。

おもてなしには忘れてはならない笑顔添えて、熊本にサプライズを起こしましょう！